

07 ゴールデンウィーク隠岐クルージング

4月24日(火) 廿日市港	0600	~	59 マイル	~	姫島拍子水港	1500	渡海・佐竹・日野・山口
25日(水) 姫島拍子水港	0600	~	63 マイル	~	フィッシャリーナ室津	1630	渡海・佐竹・日野・山口
26日(木) フィッシャリーナ室津	0600	~	43 マイル	~	見島 本村港	1300	渡海・佐竹・日野・山口
27日(金) 見島本村港	0600	~	61 マイル	~	温泉津港	1600	渡海・佐竹・日野・山口
28日(土) 温泉津港	0500	~	70 マイル	~	西ノ島 浦郷港	1600	渡海・佐竹・日野・山口・原
29日(日) 浦郷港泊	国賀海岸バス観光						渡海・佐竹・日野・山口・原・山本・杉山・平田
30日(休) 浦郷港泊	国賀海岸遊覧船観光・中ノ島観光						渡海・佐竹・日野・山口・原・山本・杉山・平田
5月1日(火) 浦郷港	0600	~	49 マイル	~	大社港	1500	渡海・佐竹・日野・山本・杉山・平田
2日(水) 大社港	0600	~	52 マイル	~	三隅港	1530	渡海・佐竹・日野・山本・杉山・平田・中野
3日(休) 三隅港	0500	~	38 マイル	~	見島 本村港	1330	渡海・佐竹・日野・山本・杉山・平田
4日(休) 見島 本村港	0600	~	43 マイル	~	室津	1430	渡海・佐竹・日野・山本・杉山・平田・鳴戸・与理
5日(休) 室津	0600	~	87 マイル	~	平郡西浦港	1700	渡海・佐竹・日野・山本・杉山・平田・鳴戸・与理
6日(日) 平郡西浦港	0600	~	40 マイル	~	廿日市港	1630	渡海・佐竹・日野・山本・杉山・平田・鳴戸・与理

<その3>

第8日目 5月1日(火)

レポート：杉山義春(隠岐 浦郷乗船)

隠岐 西ノ島 浦郷 ~ 大社 49 マイル



0500 起床、親戚に不幸があった原さんとここで下船予定の山口さんを棧橋に残し 0610 出航。予定ではここで中野さんを拾い明日の朝にオーバーナイトで見島に向かう予定であったが、低気圧が近づいているため、本日出航し大社港まで進むことになった。

天候 曇り、南西の風 3 m、主機関 1900rpm、針路 2 2 5 ° で一路大社港に向かう。第 1 ワッチ 渡海・日野、第 2 ワッチ 佐竹・平田、第 3 ワッチ 山本・杉山で、2 時間交代のワッチである。

出航直後にみんなの昼食であるおにぎりを作ったせいか出航そうそ

う気分がすぐれない。少しもどしてしまっただがすぐに復活。昼には自分で作ったおにぎり味噌汁を美味しくいただく。

途中大きな転進もなく順調な航海でしたが大社港入港直前に日御碕沖で、ストームが急に発生、丁度風の様子がおかしいのでメインセールのリーフをし始めていた所で助かった。この時クルーズ客船日本とすれ違う。1500 大社港入港。

境港で山口さんと中野さんが合流し、境港に置いてある欽也の車で大社港まで来てもらうことになった。おかげで大社港では車を使って、買い物や風呂に行くことができた。陸上のサポート隊がいるクルージングのなんと快適なことか。今度から、山口さんには陸上サポートをお願いしたいくらいです。

一つ残念なのは、風呂の料金で高齢者割引があり、一般 500 円のところ高齢者は 300 円で、なんと付き添いが 3 名まで同じ 300 円でした。渡海さんと山口さんを第一便で行ってもらったため、第二便に高齢者がいないため高齢者割引が使えませんでした。残念！ 本日の夕食はすき焼き！ 例によって大宴会で盛り上がりました。



第9日目 5月2日(水)

レポート：杉山義春

大社港 ~ 三隅港 52マイル

0500 起床。0600 出航。本日もおにぎりをつくったせいか気分が悪くなりダウン。本日はなかなか回復しない。ワッチは交代してもらって、バースに潜り込みひたすら寝る。午後に回復するが食欲がない。午後からワッチに復活。

1800 三隅港入港。今回来られなかったメンバーの清滝君がずいぶん前に現場監理で携わっていて出来た火力発電所のすぐそばに着岸。入港後、風呂と氷の手配に走る。風呂は車がないと難しいらしいが、氷は歩いて15分位のところにある釣具屋で入手できた。2貫目で380円でした。

本日の夕食はキムチ鍋。

本日は、私の頭の中に航海日誌記録が無いため、以上。



追っかけ乗船 5月1日(火)

広島県廿日市~松江~大社

レポート：中野洋二(大社港乗船)

雨がまだ残る中、宮内串戸5:49発広島行きの電車に乗り、私の隠岐クルージングへの旅が始まった。広島バスセンター7:00発松江行きに乗り、10:30予定通りに松江駅に到着したところ、早速迎えに来てくれる山口さんから「駅近くで隠岐牛を売っているところを探してほしい」との連絡を受ける。駅の周りを調べたところ2軒の肉屋さんがあったので行ってみることにした。しかし、2軒とも島根和牛は売っているけど、隠岐牛は売っていないとのこと。肉の購入者渡海産に連絡すると、2kgほど家に送って欲しいと頼まれたので購入し送付。ステーキ用が1380円/100g。我が家では見たこともない立派な肉でした。 島根ワイナリー

さて、11:30山口さんと原さんと松江駅で合流後、原さんはそこから家に戻ると言うことで別れ、山口さんと二人でゼーファラーが入港する予定の大社港に向かう。車は境港港まで乗ってきた平田さんの外国車。山口さんがウインカーを出そうとして、何度もワイパーを動かす。慣れない高級車は大変です。

大社港は出雲大社のすぐ近く。このままだと早く着きすぎるので島根ワイナリーで小休憩。そして差し入れ用のワインを2本購入。そこに渡海さんから電話。発電機の燃料ホースにつける部品を探して来るよう依頼を受けた。そこでまずは店探し。出雲大社のすぐ近くの派出所に車を乗りつけ善良な市民のお願いと言う形で、船舶部品を売ってくれそうな店を探してもらう。電話帳やら何やらを調べて丁寧に調べていただき、本当にありがとうございました。中ノ島マリーナを紹介されそこにゆくと、大社町では手に入らないから出雲町の店に中継ぎをしていただき大社港まで持ってきてくれることになり、これまた非常にお世話になりました。



親切に港まで配達していただいたお店 [YAMAHA ボート販売修理「ピースマリン」](#) 電話 0853-43-7722

14:30大社港到着。小雨が残る中、ゼーファラーの到着を待つ。当日、大社港の沖に客船につぼん丸が

来ているらしく、オプションツアーで出雲大社に行くのか大型バスが3台停車している。スタッフの人もちらほら。至れり尽くせりの旅ですね。

さて、15:00頃堤防で待っていると、ゼーファーラーらしきマストが見えてくる。小雨と風が吹く中マストが大きく揺れる。結構沖合いは波が高そう。船名のとおり航海者らしい入港です。漁協に指示された停泊場所に誘導し間もなく着岸。お疲れ様でした。

さっそく風呂の調査。夕食の準備とテキパキと準備が進む。さすが旅なれた船のチームワークを感じます。風呂はこの地の地理に詳しい日野さんの案内の元、北山健康温泉へ2班に別れて行く。ぬめり気のある水質で疲れがとれました。

夕食は船内ですき焼き。鍋老中、渡海さんの下、鍋奉行平田が指揮する中非常においしい隠岐牛（広島購入。隠岐を經由した肉）を堪能しました。就寝は10:00。一部12:00までの宴会があったようです。

第9日目 5月2日（水）

レポート：中野洋二

大社港～三隅港 52マイル



朝6:20出航。ここで広島に戻る山口さんを残し、まだわずかに雨が残る大社港を出航。私にとっては瀬戸内海以外の初めての山陰の海、しかも外洋と2大タイトルを獲得する航海です。また、ゼーファーラーに乗り込んでの旅も初体験。全て初物ばかりです。さっそく、第1ワッチに山本さんと私が指名され、8:30までのワッチに着く。風はまだ冷たいが昼あたりから天候も回復するという予報なのでいい航海ができそう。

広島にゴミと共に帰る山口さんとここ大社でお別れ

1メートルということで今日うねりは小さいよ。と言われたが瀬戸内海とは違う波長の長い大きなうねり。なるほど、これが外洋かと感じる。海も深い色にもかかわらず透明感があり、ゴミの多い瀬戸内海とは違うなあと感じる。コンパス方位は240° 5~6ノットで快適に船は進む。10時頃になってワッチ交代でしばらくキャビンで横になり、午前中よりいくぶん暖かい。その間に目的地が変更となったようで浜田から10マイル先三隅港を目指すことになる。風向も変わらずあと10°右に振れたらジャストコースなのだが、だ



だんだん岸に寄る形となったため、何度かタックを打ちながら西を目指す。途中、ホンダワラが多数浮遊している場所があり、回避を繰り返すもどうもスクリューに絡まったようで艇速が1ノットほどダウンす



る。三隅港に着いてスクリューをチェックすると多量のホンダワラが絡まっており大漁でした。

午後後半は、佐竹さんがオーパイを使わず真面目にラットを握って走る。平田さんの掛け声の下、風上に4人そろってヒールを押さえるために座る。なんとヨットらしい光景ということで、記念写真をたくさん撮っても

らいました。



途中、アクアスの巨大な橋、どこまでも続く江津あたりの砂浜、風力発電の風車など海上からならではの光景を見ながら走るうち17:00三隅港に入港。

この港には巨大な火力発電所が併設されており、そのためか港も非常に立派なところでした。ただし周りは何もないところのようで風呂はなし。食事は船内でキムチ鍋となりました。明日は見島の祭りに間に合わせたいということで4時起きで5時出航のため、10時頃には就寝。静かな港で朝までぐっすり眠れました。

5月3日（三隅港）

私（中野）は見島に行く帰りの船便の関係から3日中に広島に戻れそうもないので朝5時ここで船を下船。見送りをしました。わずか1日の船旅でしたが目的の山陰、外洋、ゼーファーマー乗船を果たしとても満足しています。ゲストということでアフトキャビンを利用させていただいたり、食事の世話になったりで至れり尽くせりのサービス本当にありがとうございました。

第10日目 5月3日（木）

レポーター：操船と昼寝が忙しく本日は不在

三隅港 ~ 見島 本村港 38マイル



浜田経由で広島に帰る中野さんとはここで別れ



火力発電所東の三隅港、夜明けの出航



途中で遭遇した外洋クルーザ



うねりが大きくなってきた



笑顔で操船の山本艇長



デッキのクーラーが流れかけて・・・



操船を楽しむ当直二人



午後早く 見島港にて鳴戸君、与理君と無事合流



赤崎旅館の夕食



日本和牛の元祖 見島牛の銅像

次号に続く